

# **DAS-JAPAN NEWS** 第21号：2015.7.2

## ■ISOはマネジメントシステム

今から28年前に国際規格ISO9000が発行された当時は、製品の品質を担保するためのものでした。当時わが国の製品の品質は世界の座にあり、世界から羨望のまなざしで見られたものです。どうして品質のよい製品が作られるのか、日本の企業内の仕組みはどうなっているのかが世界の注目の的でした。ところが当時は今と違って、なかなか企業内の仕組みはオープンにされませんでした。そこで注目されたのが品質のISO9001でした。この規格の意図は、ある意味では組織内の仕組みを社外にオープンにすることを要求していますので、この規格を通じて、日本の企業内の仕組みが世界の国々に知れることになりました。一方、このISOも時代とともに変貌を遂げて行きます。2000年の大改正で品質の規格からマネジメントシステムという「組織のマネジメントのツール」としての色合いが濃い内容に様変わりしました。今まで製品の品質に自信をもっていた企業にとっては、品質の規格に乗る気ではありませんでしたが、経営のツールとしてなら大いに使えると考えが一変したのです。しかし今日、ISO9001は製品の品質だという考え方からいまだ抜け切れず、経営のツールとして使いこなせていない組織がまだまだ多いのは残念なことです。

## ■人のコントロールシステム

前回のDASジャパンニュースで「P・Fドラッカー」の考え方をご紹介しましたが、いくつかの登録組織の経営者から大いに参考になったというご感想をいただきました。実はこの中でドラッカーが、組織内の社員をいかにやる気にさせ能力を発揮させるかが企業を成功させる一番の効果的な方法だと述べています。つまり社員のモチベーションを上げることは、あらゆる側面に効果が出ることになり、結果として組織の発展につながります。仕事上のミスも減り、能率も上がり、会社の発展につながるアイデアも増加することでしょう。あらためて、社員のモチベーションを上げる目的でこの規格を見ると、「力量、教育・訓練及び認識」が大いに関係します。管理者は、各社員の現在の力量を把握して、今後本人にどのような希望があり、どのような仕事に挑戦させ社員のやる気を醸成するかを、この規格を活用し実現するのです。

## ■リスクマネジメント

今回のISO9001の規格大改正の目玉が「リスクマネジメント」の要求です。これはある意味では、従来の「予防処置」を広くとらえた内容ですが、現代社会は身の回りに「リスク」があふれています。世界では、地球温暖化による天候不順や大規模な自然災害、イスラム国家によるテロ、中国の脅威に始まり、日常生活では、交通事故、人間関係のトラブル、情報漏えい、不当な勧誘、盗難、詐欺などキリがありません。このようなリスクを回避することは、あらゆる損害や不利益を被らないためにも、きわめて重要なことです。日本は昔から、起こった出来事に対してはよく対処するのですが、起こり得そうな出来事に対して未然に対策を立て実行することは苦手とされてきました。しかし危害を未然に防ぐことがいかにコスト的に得かが最近急速に認知されてきています。

## ■仕事の効率

ISO9001の導入組織で、ノウハウを共有できたのは大きな効果だったと述べているところが少なくありません。導入前は社員が独自に仕事のやり方のノウハウを、抱えたり出し惜しみしていたのですが、導入後は積極的に全社に公開し、全体の仕事の効率が格段に上がったといえます。まさに効果的な活用事例でしょう。今の時代、個人のノウハウなど知れています。それよりもさまざまなノウハウを共有しながら、会社としてもっと高みを目指すことが競合ライバルを出し抜くことにつながると思います。

## DAS ジャパン から

### ■代表の著書がベストセラー！



本著は、医療機器に関する組織向けに書かれた本です。医療機器メーカーはもちろん、医療機器を使用する医者や病院関係者も主な愛読者だそうです。

発売以来版を重ね、このほど7刷で5万部を超えるベストセラーになったということです。代表はこの本がきっかけで、東大医学部で講演を行ったこともあります。

著書名 「よくわかる ISO 13485」(医療機器の品質マネジメントシステム)

出版社 オーム社(平成17年12月)(2600円)

著者 萩原睦幸(DASジャパン代表取締役)

### ■恒例の審査員研修会開催！

恒例のDASジャパン(株)主催の第11回審査員研修会が下記の要領で開催されました。

日時:2015年4月12日(日) 13:00~17:00

場所:あうるすぽっとB会議室(豊島区東池袋 ライズアリービル3F)

当日の講師として2人の主任審査員から得意分野の説明があり、参加者に大変参考になりました。

- 1.「組織のあるべきQMS体系図」(川相主任審査員)
- 2.「S認証及び医療機器のQMS認証・仕組み・動向」(中野主任審査員)

終了後近くの居酒屋で恒例の懇親会が行われ、審査チームの結束を誓いました。

(編集責任者 萩原由利)



英国系 ISO 認証機関 DAS ジャパン(株)

代表取締役 萩原睦幸

東京都豊島区東池袋 3-20-16-503

[info@das-japan.jp](mailto:info@das-japan.jp)

<http://www.das-japan.jp>